

NRU

国労せんだい

No. 2503

2007年10月10日

発行責任者 橋本昭二

編集責任者 武田昌仙

総結で闘った方針を確立

第六二回定期地方大会を開催

国労仙台第六二回定期地方大会が9月29・30日、仙台市内茂庭荘において開催された。JR不採用問題の早期解決をはじめとして、労働条件改善、安全問題、組織強化拡大、昇進差別和解問題など諸課題について白熱した議論が行われ、運動方針など全議案を承認、決定した。

○真摯な討論を
大会は橋本副委員長の司会で開催し、挨拶では「この一年間の闘いをしっかりと総括し、あらゆる闘いに立ち向かう方針を確立するために、職場の諸課題と合わせて真摯で活発な討論をお願いしたい。」と述べた。手続きに入り、資格審査委員会から代議員36名中35名の出席を確認し大会



挨拶する太田委員長

○激励と連帯の挨拶
来賓挨拶は政党、友誼組織など多くの方々(下記参照)から受けた。東日本本部を代表して挨拶に立った伊藤執行委員長は「①昨年の一括和解について、和解の意義を会

- メッセージ (敬称略)
- ★新潟地本 守橋 久仁雄
 - ★千葉地本 土井 章
 - ★東京地本 石上 浩一
 - ★高崎地本 横塚 正雄
 - ★水戸地本 高松 義雄
 - ★盛岡地本 高橋 伸二
 - ★秋田地本 瀬下 一司
 - ★長野地本 平山 芳夫
 - ★国労東北協議会

社・組合に周知徹底を②東日本会社の制度改正に向けた要求作りを提起する③組織拡大に向けた取り組みの強化④不採用問題へ全国大会で運動の展望が確立されつつある。1:30の成功を一等について述べた。また各地方本部等からのメッセージが菅原婦人部長から紹介され読み上げられた。

○執行経過を承認
議事に入り、大会延期承認を得



表彰を受ける仙総支部江刺家副委員長

た後、締結した協定を大沼書記長が提案。2006年度決算報告を永山執行委員が行った後、秋山会計監査員より会計監査報告を受け、会館事業報告と予算の報告を中島副委員長が提案。活動報告と2007年度運動方針(案)を書記長が一括提案した。協定・決算・会館・経過に対する質疑には江刺家代議員外3名が発言し、執行部からの答弁後に協定・決算・経過についての承認を得た後、2007年度予算(案)が提案された。(各代議員の発言については発言集を作成し周知を図る。運動方針に対する質疑も同様)

○優良機関紙表彰
昨年に引き続き仙台工事区分会の機関紙「ろば」が地方本部規定30号を超えて52号を発行したほか、今年は仙総支部の「団結」、同支部の組立分会「ガンバ組立」、郡工支部の「郡工情報」の4組織が

優良機関紙表彰を受賞した。

2日目

○運動方針を拍手で採択

大会2日目は執行部から規約改正の提案(執行委員4名から5名へ増員)を受け、全代議員から承認を受けた後、方針及び予算質疑を再開し、一般討論25名、前日の経過討論と合わせて29名が発言した。

代議員の質疑に対する各専門部からの答弁を受けた後、2日間の発言を受けて、大沼書記長が行った集約に対し代議員からの異議は出されず、2007年度運動方針(案)並びに2007年度予算(案)が採択された。

○スト権を確立し

新執行部を選出

新執行部

執行委員長

橋本 昭二 (新) 仙総

執行副委員長

中島 利彦 (再) 宮城

後藤 秀一 (新) 宮城

書記長

大沼 元 (再) 宮城

執行委員

五十嵐 敬 (再) 福島

佐藤 勝 (再) 宮城

武田 昌仙 (再) 宮城

歌川 弘 (新) 福島

曾我 浩之 (新) 宮城

来賓 (敬称略)

☆社会民主党・本多祐一郎

☆日本共産党・横田 有史

☆宮城県平和労組会議

・ 及川 光行

☆宮城県交運労協

・ 斉藤 貞雄

☆東北労金宮城県本部

・ 伊藤 恵一

☆全交運共済生協

・ 長田 節子

☆退職者の会・国井 豊重

☆国労議員団・佐藤 幸夫

・ 石川 建治

・ 松崎 新

・ 我妻 徳雄

・ 高橋 光治

・ 円谷 寛

☆国労東日本本部

・ 伊藤 秀樹

続いて出席代議員36名中、36名を確認してスト権1票投票が行われ、賛成36名で確立された。

役員改選は、選挙管理委員会からの報告を受け、執行部、地本会計監査、地方委員全て定数通りの立候補で無投票当選を確認。最後に大会宣言を採択した。

閉会の挨拶に立った中島副委員長は「議長進行を滞りなく進めた両議長に労いの言葉をかけた後、今大会の発言に学び、明日から職場で奮闘しよう」と述べ、橋本新委員長の「団結がんばろう」三唱で大会を締め括った。

集中した中央行動を展開

国土交通省を攻める

5月、6月行動に続く第3弾の4者4団体の9月行動が9月18日からスタートした。当日10時30分からの国

交省正門前座り込みには、全国から約300名が結集、仙台地本からは7名が参加した。

挨拶に立った高橋中央執行委員長は「5月・6月行動に引き続き大衆行動。臨時国会は安倍首相の突然の辞任で空

転していることから、当初の行動計画の変更を余儀なくされた。相手の動きを見据え、戦術を立て解決を実現させたい。「4者4団体」が悔い

ない闘いで支え、当事者の納得する解決を目指す。」述べた。また、国鉄闘争共闘会

議の二瓶議長は「20年経過し、最大の山場を迎えている。政治状況にかかわらず全力で闘う。国家的不当労働行為で

あり、生半可なことでは解決できない。闘いの質が求められている。地域集会で盛上げ、11・30全国集会を大成功

させたい。」と決意を述べた。午後からは、永田町の星陵

会館において「JR不採用問題の解決を！9・18緊急国会集会」が開催され、衆参両院から6名の国会議員が駆けつけた。

民主党の郡司参議院議員からは「『4者4団体』から政治解決を図りたいとの申し出を受け、何が出来るか、与党

への働きかけをどうするかを模索した」また、「相手からは、まとまっているのか、裁判はどうするのか、等の懸念も出されているが、北海道・九州の議員と連携し、皆さんの思いが実るよう努力したい。」との報告を受けた。

集会後は、国土交通省前に戻り、引き続き座込み行動を展開。各地域の取組み状況報告では、福島県支部の永山氏

が宮城地労委労働者側委員の要請書、各自自治体決議、福島平和フォーラムでのカンパ等の取り組みの報告を行った。(郡工 橋本通信員)

安全問題プロジェクトから 保線職場の問題点が明らかに

同プロジェクト会議は定期的

に開催されており、7月会議は空港アクセス鉄道関係・郡総車セのリフティングジャッキの問題・福島変電所の感電事故・保線関係連続事故問題での議論が行われた。

「ここでは保線関係の問題に絞って報告とする(福島工務4分会交流会の報告)。

○保技セが伐採！

6月24日、東北本線・松川～金谷川上り線において竹の伐採を行ったところ架線に支障し列車を止めてしまった。

問題点として
①伐採・除草は本来直轄作業ではない(保技セに伐採要員はいない)。

②直轄作業はないにも関わらず、草刈機等の器具を購入している(メンテ合理化の団交で

第十二回 皇居マラソン



十一月十日(土)十一時
ところ

桜田門外「時計台」前集合

参加申し込みは地本まで！



を明らかにさせる。

②住民・乗務員等からの苦情等の内容と件数を明らかにさせる。

③除草(伐採)について会社の考えを明らかにさせる。

○直轄・外注区分がないがしろにされている

郡山保技セでは直轄・外注区分が乱れ、直轄は何でもやる、やるとなっている。具体的には緊急性に名を借りた、

ボンド作業、むら直し、軌間直し、分岐むら直し、除草線閉監督・保守用車監督、保守用車運転手を直轄で行っている。

また福島保技セではフロー削正、ボンド作業、除草、むら直し、保守用車責任者等を直轄で行っている。この背景にはP

会社には要員がいらない、受注能力がないことが挙げられる。

会社は直外区分の境界点はすべて決めていないとしているが、直外区分は細かく決めてきた。実態を更に調査し、再度問題提起をしていく。

(福島 真屋通信員)

お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところですが、このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地方本部で引き受けることになりました。

つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

記

住所 〒984-0015

仙台市若林区新寺

一丁目 4-31

名称 国鉄労働組合

仙台地方本部

担当係 岡崎

連絡先 TEL022-2637460

FAX022-2697435

請求方法

所定の請求書に必要事項を記載の上「国労会館建設資金受領之證」とあわせて提出してください。

